

早期離床リハビリテーション

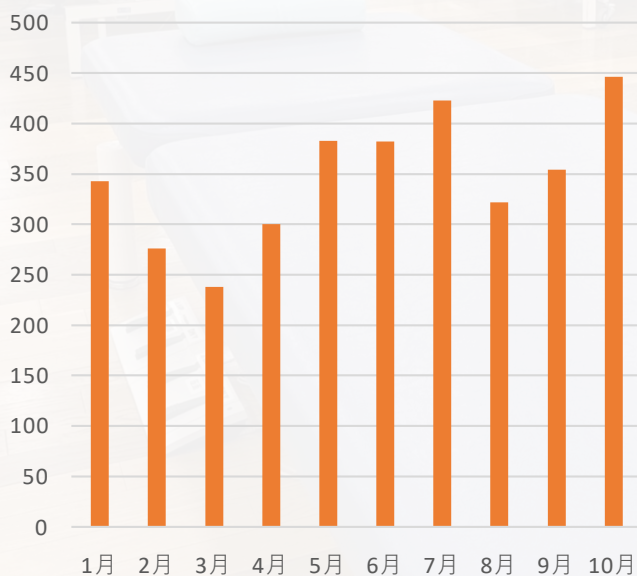
早期リハビリテーションの取り組み

当院では平成30年度の診療報酬改定において、特定集中治療管理料に「**早期離床リハビリテーション加算**」が新設され、平成31年5月より導入を開始しています。

毎朝のカンファレンスから始まり、集中治療を要する方に対して各疾患のガイドラインを推奨し早期から医師、看護師、理学療法士などの多職種チームによる介入をしています。人工呼吸器からの早期離脱や重篤な筋力低下（ICW-AW）、認知機能低下やせん妄、精神障害、合併症の予防（PICS）に努めています。

早期からリハビリテーション介入をすることで人工呼吸からの早期離脱、日常生活動作の再獲得、ICU在室日数の短縮、早期退院などが期待できると言われており日々尽力しています。

ICU・HCU単位数合計



リハビリの様子



今後の展望

医療は日々進展していく中で、急性期病院は縮小され、医療費削減、在宅へのシフトが始まっています。

今後、逼迫する急性期病院の中でいかに自立した退院を早期に目指すか、より多くの方に適応させていただき早期離床リハビリテーションを行っていくことが重要です。